

 広報

とのしよら

平成29年

4

No.735

まっすぐ大きく育ってな!

～第23回 水源の森づくり in 小豆島～

毎号として保存しましょう



平成29年度 施政方針

平成29年3月7日に行われた3月土庄町議会定例会の冒頭において、三枝町長が行った施政方針表明の内容を全文掲載します。



本日、平成二十九年三月土庄町議会定例会において、平成二十九年年度の予算案をはじめ、各議案をご審議いただくに当たり、私の町政運営に関する基本的な考え方と新年度施策の大綱について申し述べ、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

新しい挑戦・強い絆

町長就任から三年が経過し、任期としては集大成ともいうべき四年目を迎えました。この三年間、議員各位をはじめ、町民の皆様、関係機関等のご支援、ご協力を賜りながら町政の発展のために全力で取り組んでまいりました。昨年は小豆島中央病院が開院し小豆島の島民にとって安心安全な医療体制を確保するとともに、島内交通の要であるバスの路線の改編及び大人上限

三百円という料金体系の見直しを実現しました。小豆島消防署は新設して西と東の二署体制となり、アナログ無線からデジタル無線へと機能向上を果たしております。また春・夏・秋会期を通して開催された第三回瀬戸内国際芸術祭においては、土庄港ターミナルのコシノジュンコプロジェクト作品を皮切りに、豊島美術館、豊島横尾館をはじめとする数々の作品、また大部地区で初めて展開した「国境を越えて・潮」等、新旧合わせた数々の魅力的な作品が観る者を魅了し、小豆島とのしょうアートここにありと印象づけられたのではないかと思います。九月にはパラグアイのラ・コルメナ市を訪問し、土

庄町長浜からパラグアイへの日本人最初の入植者である笠松氏の子孫である笠松エミリア氏、パラグアイ香川県人会平井会長を始めとしてメルガレホ市長、ウエスギ議長と友好を深めてまいりました。遠く離れた異国の地においてもなお脈々と続いている土庄町との絆や繋がりを強く実感してまいりました。

さて、昨年のわが国の経済動向を振り返りますと、アベノミクスの取り組みの下、緩やかな回復基調となっておりますが、デフレを完全に脱却したとはいえない状況であります。また、平成二十八年四月に起きた熊本大地震、十月の鳥取大地震は未知の断層が引き起こしたと言われており、わが町の地震対策においても安心安全な生活を継承していくうえでまったなしの状況下にあると言えます。

また最近では、最大の同盟国といえるアメリカ合衆国のトランプ大統領による新政権が、わが国にどのような風をもたらしのか、変革の動向に注目してまいりたい所存であります。

国内に目を向けると、地方創生の旗印の下、地方から元気になるため景気へのテコ入れの動きが続いている一方で、人口減少の続く土庄町では景気回復感を実感するのはまだ少し先のよう感じられます。土庄町としても今後の景気の動向や国の施策の動向を注視しながら適切に対応してまいります。

三年目を迎えるまちの創生

土庄町におきましては、平成二十七



▲島内の拠点をつなぐ路線バス

年に実施されました国勢調査の結果により、前回平成二十二年の調査から千八百十八人、率にして七・四％も減少したとの調査結果が出ており、急速な人口減少が進んでいることに大変危機感を抱いております。このような状況の中、平成二十七年十月には、人口減少、地域経済縮小の克服を目的とした「まちの創生」に向けて具体的な施策を盛り込んだ「土庄町創生人口ビジョン」及び「土庄町創生総合戦略」を策定したところであります。

土庄町総合計画を念頭におきつつ総合戦略の施策を着実に実施し、長期的な視点で継続的に取り組むことにより、平成七十二年に人口約一人を維持するという目標に向けて、取り組みを展開してまいりたいと考えております。

それでは、平成二十九年度当初予算について申し上げます。まず、規模につきましても、一般会計の総額が、七十七億三千三百万円で前年度比一億千三百万円、率にして一・五%の増となっております。特別会計については、簡易水道事業特別会計が平成三十年度予定の県下の水道事業広域化に伴い、平成二十九年度予算から水道事業会計に統合しております。残り八つの特別会計の総額は、四十六億八千六百二十万円で、前年度比△三億六千六百万円、六・一%の減、水道事業会計は、五億七千三百三十九万九千九百九十九円で、前年度比△三億九百六十八万八千三百五十二円の減としております。

次に、一般会計の歳入につきまして主な内容を申し上げます。

町税は、前年度からの収納率の向上に努め〇・九%の増、地方譲与税は前年度とほぼ同額、地方消費税等の地方交付金は、地方消費税交付金等の見直しにより十二・四%の減、地方交付税は前年度と同額としております。国庫支出金は、老朽危険空き家除去支援事業補助金、社会資本整備交付金などの増に伴い一億九百三十七万八千円、二〇・一%の増、県支出金は、港整備交付金漁港ストックマネジメント事業の終了、次世代産業育成モデル事業などの減により、△二億二千七百二十九万九千円、三〇・三%の減となっております。諸収入につきましては、土庄中央病院事業収入三億六千六百七十七万円の大幅減などにより△三億七千七百九十四万四千円、七十三・七%の減、町

債につきましては、一般廃棄物処理施設整備事業、社会資本交付金事業新設統合なども園建設事業などに伴い三億三千二百十萬円、四十五・九%の増となっております。

続きまして、平成二十九年度における主要な施策について、土庄町総合計画の五つの基本目標に沿って、ご説明申し上げます。なお、国の補正予算等により、平成二十八年度補正予算に計上したのも一部含まれておりますので、ご了承願います。

基本目標 1

「住んでよく、訪れてよかったと思えるまちづくり」

主な新規事業・重点施策

観光団体・イベント助成事業	4,489 万円
一般廃棄物処理施設整備事業	1 億 9,378 万円
次世代産業育成モデル事業	9,166 万円

第一に「住んでよく、訪れてよかったと思えるまちづくり」について申し上げます。

観光の振興としては、記憶に新しい瀬戸内国際芸術祭二〇一六は盛況のまま閉会を迎えました。本年は次回

二〇一九年開催までの谷間の年になります。しかし第二回、第三回開催までの期間においても多くの方に小豆島に足を運んでいただいている状況であります。このアートの力、小豆島に来ればまた新しい何かに出会えるという期待感に込め、次回の第四回瀬戸内国際芸術祭二〇一九に繋げていけるよう、気軽に触れ合える「アートベンチ」の設置、「土庄港アートノシヨ」の更なる展開、「町内アートミュージアム計画」、「小豆島とのしょう歴史物語」などアートイベントに注力し、「アートの町とのしょう」もテーマに掲げ更なる展開を進めてまいります。またギネスに登録されている「世界一狭い海峡土海峽」での「小豆島クルーズウォッチング」により観光客を誘致してまいります。

また、島の観光資源の発掘といえは、今年も一月二十一日には、小豆島霊場の島開き法要が執り行われました。島の風物詩として恒例となっておりますが、以降多くのお遍路さんが島を訪れ、交通手段は様々ですが小豆島中を何日かけて巡礼されます。この八十八ヶ所の巡礼、四国八十八ヶ所巡礼は平成二十七年四月に日本遺産として文化庁に登録されました。小豆島霊場八十八ヶ所巡礼も、より手軽に行える巡拝として日本遺産に登録が叶えば、認知度もより広まることは間違いありません。近年、お遍路さんも宗教的意味合いのみならず観光感覚での巡礼者も増えてきております。今まで以上に小豆島に足を運んでもらえるよう知名

度向上を目的として、日本遺産登録に向けた調査を行ってまいります。

さらに、観光資源の再発見としましては、長年小豆島池田で開催されてきました「日本一どでかボチャ大会」が、二十九年度は土庄町が主体となつて九月十七日フレトピア広場において開催する予定です。また土庄町北部の観光拠点であります大坂城残石記念公園は、さらなる賑わいづくりのため運営主体となる財団法人の設立に向けて準備します。さらにパワーボートのレースを大部港沖に誘致し、新たな集客に努めます。その他既存のイベントにつきましても、地元の協力を仰ぎつつ多くの人に楽しんで、また来たいと思っただけのように努力してまいります。



▲瀬戸内国際芸術祭 2016 「アートノショーターミナル」が完成



次に土庄町の目下の問題であります。一般廃棄物処理施設の整備についてですが、琴塚地区の妙見採石場跡地を最有力候補地と定め、二十九年度には用地買収から測量や生活環境影響調査などを行います。同じく、し尿処理施設も同場所に整備すべく併せて進めてまいります。

次に農業の面では、イノシシ、シカ、サルなどの有害鳥獣による農作物の被害は、有害鳥獣捕獲や県の個体数調整による捕獲により年間を通じて約千三百頭を超える頭数を捕獲するも高止まりの傾向であり、対策を行っていない住宅地などではイノシシを見ることも稀ではなくなりました。農作物への被害だけではなく人的被害も懸念されます。捕獲をより効率的に行うためICT技術を積極的に活用するとともに、講習会の開催、地域点検の実施、防獣帯、ワイヤーメッシュ柵や電気柵の侵入防止柵の設置を支援し、小豆地区猟友会、香川県農協、土庄町森林組合、小豆島町、香川県、国の研究機関等との連携の強化を図り、被害の軽減に取り組んでまいります。

林業の面では、大部・大鐸両財産区と土庄町森林組合が連携し、東京オリピック建造物建設のための原木供給に向けてSGEC認証審査を受け、スタジアム建設などに地元伐材を使用していただけより強く働きかけてまいりたいと考えております。また今後この間伐材を町の公共施設等に使用していきたいと考えております。

地産地消の促進としては、地域産品として広く認知されてきました小豆島オリブ牛のブランドPRに一層取り組んでまいります。また、新たな地域産品としてのごまの育成については試行を続けており、将来日本一の産地となることを目指して、更なる周知と体制強化に取り組んでまいります。また、地場産業であるそうめんの地消及び食育の一環として、学校給食により多く取り入れられるよう働きかけてまいります。

広がりつつある耕作放棄地の対策としては、耕作放棄地を農地に復活させて、土庄町農業委員会や香川県と連携して、小豆島の代名詞であり香川県の特産品であるオリブの生産拡大を目指し、植栽事業を支援するとともに耕作放棄地の解消を図ります。

また、地域経済の活性化に向けた布石として、平成二十七年から地方創生交付金を活用した次世代産業育成モデル事業に着手したところであります。が、理化学研究所を中心に、慶應義塾大学、香川県と連携した植物工場を設置しまして、野菜の次世代栽培システムの研究実証事業を行い、地域振興・雇用の創出を図るとともに土庄町の地域ブランドとなるよう取り組んでまいります。

水産業の振興としては、平成二十八年度まで港整備交付金を活用して整備した田井漁港の交付金超過分を、単独事業として最終分の整備工事を実施します。引き続き唐櫃漁港、見目漁港の費用対効果の分析調査を行い、結果を



▲植物栽培システム研究棟が完成し、4月から試験栽培がスタート

▼独自のブランド「島鱧」を設けた小豆島のハモ



人口減少対策としての施策の充実にさらに取り組んでまいります。東京、大阪等都市圏で行われる移住促進フェアへの出展、その他県外での移住・定住イベントでのPR活動や各種の情報発信を引き続き積極的に行い、移住相談や移住の受け入れ体制など充実を図ってまいります。平成二十七年にはUターンを含む百四十世帯百九十三人に土庄町に移住いただいております。地元の見線では気づきにくいものもあると思いますので、小豆島に移ってこられた方々から何が小豆島のアドバンテージなのか、注力すべきポイントを新鮮な視点で色々意見を聞いて活かしてまいりたいと考えております。

また地域間の交流としては、歴史のつながりのある長崎県雲仙市との交流をより深め、相互に更なる有意義な関係を模索しつつ人と物の交流を深め、教育分野の交流も視野に友好関係を築いてまいります。

交流活動の推進としては、平成二十七年に京都産業大学と包括協定を締結しました。さらに現在調整中ではありますが、武庫川女子大学・短期大学部とも包括協定を締結予定であります。今年度は更なる交流人口の増大と人材育成、協働による地域住民の意識高揚、魅力の再発見など、交流事業を積極的に展開してまいりたいと考えております。

また、本町、小豆島町、両町商工会青年部と共同で実施している独身男女出会いの場提供事業を今年度も実施し、少子化問題の解決を図ります。

基本目標2

「誰もが安全で安心して暮らせるまちづくり」

主な新規事業・重点施策

自然災害防止事業（河川）	2,065 万円
自然災害防止事業（急傾斜）	2,488 万円
沖之島架橋事業	540 万円

第二に「誰もが安全で安心して暮らせるまちづくり」について申し上げます。

災害対策事業として、避難者などへの必要備蓄物資を購入し、備えを強化し有事に快適に過ごせるまちづくりを目指します。また大部梅ヶ谷地区の急傾斜崩壊防止工事、河川の自然災害防止事業及び大谷ポンプ場新設事業、測崎・東内浜・吉ヶ浦ポンプ場の改修工事を実施し、災害の未然防止につなげてまいります。

有事の際の各地域でのマンパワーのひとつとして消防団による活動が期待されますが、二十八年度末には土庄分団の新屯所が小豆島西消防署の隣に完成します。本年度は消防団員の活動服を一新して配備し、新基準の活動服での活動を行います。施設の機能向上及び鹿島班の積載車購入の助成、鹿島班・小部班・田井班への可搬ポンプの購入による備品の充実が消防団組織の充実

また団員確保に有力と考えられます。その他、昨年から実施しております老朽危険空き家対策事業については、申請件数が予想より多く、二十八年度は十三件除去完了、二十九年度三十件を予定、五年で百件の除去の予定であります。二十九年度は協議会を設置し、対象認定を行い、危険のある空き家を効率的に撤去していきます。

また、防犯対策として二十八年度LED防犯外灯を二十五基設置しましたが、引き続き二十九年度も十九基を設置し、犯罪予防につなげてまいります。

交通安全意識の高揚としましては、近年土庄町におきましても交通事故が多発しております。ちよつとした気のゆるみがかえりつかない重大事故を引き起こす可能性もあります。加害者にも被害者にもならないよう、安全意識の徹底について小豆警察署と連携しながら交通マナーアップについて職員ともども向上していけるよう、推進してまいります。

道路環境の整備としましては、末永線改良工事、田中橋線改良工事を計画的に実施し、安全で快適な道路環境の整備を図ります。

また、沖之島と小豆島本島の架橋事業を開始します。本年度は協議及び調査を実施いたします。

水道事業においては、香川県広域水道事業体設立準備協議会に加わっており、平成三十年四月の事業開始に向けた協議を引き続き進めてまいります。また、水道老朽管の対策を順次進めてまいります。

基本目標3

「子育てしやすく、賑わいのあるまちづくり」

主な新規事業・重点施策

旧測崎小学校校舎改修事業	550 万円
新設統合こども園建設事業	1 億 4,750 万円

第三に「子育てしやすく、賑わいのあるまちづくり」について申し上げます。

教育環境の充実であります。施設の老朽化が顕著な土庄幼稚園・測崎幼稚園、児童数の増加により手狭かつ老朽化している愛の園保育所を今後の幼児数の減少を鑑み、三園を統合して幼保連携型認定こども園の開設を進めてまいりますと考えており、平成三十一年度の開設を目指してまいります。

基礎的な学力の向上として、情報端末タブレットの授業導入拡大及び教育基金事業による島外施設への体験学習、島外生徒とのスポーツ交流などを行い、基礎学力の向上を図ります。

次に、学校生活にうまく適応できない児童生徒の相談体制等を拡充させるために土庄小学校にスクールソーシャルワーカーを引き続き配置するとともに、児童生徒の基礎学力の定着及び向上を図るため、小学校と中学校に講師等を継続配置してまいります。

また、平成二十八年五月の児童福祉法の改正により、虐待やネグレクトなど保護を要する児童の早期発見や適切な対応を図るため、福祉課に常勤専門職を配置し、支援体制の強化を図ります。

子育て支援として、第三子以降に祝金を支給するエンゼル祝金制度、中学校卒業までの子どもの医療費を無料にする子ども医療費の助成を引き続き実施し、子育て世帯の負担軽減を支援してまいります。

また、就労等により保護者が留守にする放課後の時間帯や週末等に児童が安心して生活できる居場所を提供するため、民営委託で試行しております。



▲幼保連携型認定こども園は平成31年度に開設予定



放課後児童クラブは、条例を制定し二教室で実施します。さらに現在実施中の放課後児童預かり事業を継続し、子育て世代が仕事と子育ての両立を図れる環境づくりを支援してまいります。なお、既存の学校支援ボランティア事業や放課後子ども教室事業も継続して取り組んでまいります。

高等学校については、土庄高校が二十八年度末をもって閉校となり、二十九年四月からは池田蒲生地区に開校する小豆島中央高校が島で唯一の県立高校となります。大方の生徒は通学距離が相当延びることになります。そこで小豆島中央高校通学生徒のバス代の一部、豊島地区においては更に生徒の船定期代の二分の一を支援することにより負担軽減を図り、経済的負担の格差の解消を図ります。

生涯学習活動の充実としましては、建設から四十年以上経過した四海公民館を隣接地に新たに建設します。工事期間中は一時的に旧四海小学校を仮公民館として代用します。また、廃校となった旧洞崎小学校校舎について、跡地検討委員会からの要望により、有効活用を目的とした耐震診断及び基本計画策定を実施し、予定では美術館的な構想も取り入れたものにと考えております。

続いて生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興として、総合型地域スポーツクラブ育成事業を実施します。既存の各種スポーツ大会を開催することから人と人との交流を主眼とした生涯スポーツの新たな側面を導き出



▲新しいスポーツとの出会い

すため、専門職（クラブマネージャー）を配置し、総合スポーツクラブ及び指導者を育成します。また、このクラブを通じ、ボルダリングやトランポリンなどのニースポーツを活用し、地域住民と連携した元気な子どもを育むための施策を、土庄町総合会館を始めとする町内スポーツ施設の利用促進と併せ検討してまいります。

次に地域文化の継承振興としまして、特別天然記念物環境整備事業として宝生院のシンバクの環境整備を二十八年度から始め三十一年度には完了の予定です。また選択無形民俗文化財記録作成事業として国の選定を受けた「小豆島農村歌舞伎」について、調査、記録を行います。本町と小豆島町

二町での共同事業でありまして、我が町では「肥土山農村歌舞伎」を後世に残せるよう事業を進めてまいります。

基本目標4 「住み慣れた地域で豊かに暮らせるまちづくり」

主な新規事業・重点施策

病院事業	2億4,267万円
通院困難者支援事業	200万円
福祉バス運行事業	1,370万円

第四に「住み慣れた地域で豊かに暮らせるまちづくり」について申し上げます。

まず、健康づくり・保健・医療の充実については、平成二十八年四月に小豆島中央病院が開院いたしました。最重要事項であった医師の確保については企業長を中心に、香川県、大学等各位のご助力のもと、相応の体制で臨んでおり、島民の皆様が安心して医療を提供できる環境を整えております。

しかしながら、小豆島は離島というハンディキャップがあり豊島とはさらに海を隔てております。患者の症状の状態などによっては島外へ搬送しなければならぬ状況が考えられ、受入先の医療機関及び搬送手段の確保並びに搬送時間の短縮について小豆郡医師会

など関係各所と連携を強化し、患者負担の軽減に努めてまいります。

また、公共交通整備の一環として小豆島中央病院へのバスの全線接続及び料金の改定が行われ、利用し易い環境整備に努めておりますが、なお通院においてバスの利用が困難な高齢者等及び障害者（児）に対して、タクシー利用に伴う交通費の一部を助成し、経済的負担や移動の負担の軽減を図ること通院し易くします。

安心安全な医療を継続して提供するには、引き続き関係機関の支援が必要であり、何よりも町民の皆様の利用支援が欠かせません。本町としてさらに国県の助力を仰ぎつつ財政面で所要の措置を講ずるとともに、健康診断の機能も充実しておりますので、町民の皆



▲地域医療の拠点となる小豆島中央病院

様には、小豆島中央病院の利用をお考えいただくよう心からお願い申し上げます。

地域福祉の充実としましては、地域包括ケアシステムについて小豆島中央病院と連携し、更なる構築を進めてまいります。また町民の生涯を通じた健康づくり推進のため、乳幼児健診や妊婦健診等の母子保健、各種の予防接種やがん検診などの事業を引き続き行います。国民健康保険では、本町の健康課題について分析したデータヘルス計画に基づく保健事業を実施してまいります。

高齢者福祉の充実としましては、介護職の人材不足を解消するため介護職への就労を希望する町民に対し、養成講座を開催し、受講料について支援します。

また、大部地区に予定している地域密着型サービス事業所の整備に対して支援し、介護施設の充実と地域間格差の是正を図ります。

障害者福祉の充実としましては、障害者総合支援法に基づき障害者の生活基盤の安定化を図ることを目的として障害者施策に係る障害者計画及び障害福祉計画の策定に取り組んでまいります。

公共交通の確保につきましては、公共交通機関がない地域を対象に医療機関等への通院の便宜を図るため福祉バスを運行しておりますが、現行のバスは購入から十七年が経過し老朽化しておりますので、安全運行の面から現行と同様に車イスごと乗車できるバスを

新規購入し、継続運用を確保いたします。

計画的な土地利用の推進と住環境の整備としましては、大部住宅の老朽化に伴う建替により、入居者の良好な居住環境の実現を図ります。

また、民間住宅耐震診断及び耐震改修工事に対する支援を引き続き行うとともに、平成二十九年度より耐震改修工事の促進を目的として、民間住宅耐震化リフォーム支援事業を実施し、地震に対する住宅の耐震性の向上を図り、町民の安全確保に努めます。

基本目標5 「協働と連携により、自律するまちづくり」

主な新規事業・重点施策

ふるさと納税推進事業	1億134万円
地域活性化支援事業	923万円

最後に「協働と連携により、自律するまちづくり」について申し上げます。地域コミュニティ活動の推進としましては、地域おこし協力隊二名を中心とした活動及び島外でのPR活動等により、地域活動の活性化を図ります。またサイクルステーションの設置などと連動してサイクリングイベントを実

施し、新たな交流、誘客に努めます。

情報化の推進としまして、二十八年度に自治体情報セキュリティ対策を強化しました。今後も、事務処理の迅速化、効率化を向上させるとともに、職員に対し個人情報取扱いに関する研修などの措置を講じ、意識の徹底とともに確実な情報保護体制の維持に努めます。

広域連携の推進としまして、高松市を中心とする三市五町において「瀬戸・高松広域連携中核都市圏」の連携協約を結んでおります。圏域内のさまざまな分野で相互に役割を分担して連携を図り、圏域全体の経済の活性化と魅力を高める取り組みを引き続き推進してまいります。

本町では、健全な行財政運営を目指し、引き続き事務事業の見直し、経費の節減意識の徹底、職員の意識改革を促す職員研修等を実施するとともに、町税等の徴収強化、町が保有する未利用財産の売却や貸付による自主財源の確保に取り組んでまいります。

また、ふるさと納税への取り組み強化を引き続き行います。ふるさと納税を通じた町の魅力の情報発信、移住・交流人口増加への影響力、地場産品のPR等による地域の活性化など、その効果は、まちの創生に向けた取り組みへの大きな機会の一つと捉えております。全国的に注目度の高まっている今、特に注力すべき事項であると考えております。

ここまで、平成二十九年度町政運営の基本的な考え方と施策の一端を申し

上げたところですが、人口減少、少子高齢化、地域経済縮小など明らかな課題はなかなかありませんが、第六次総合計画を基に国の地方創生の施策、町の総合戦略の施策と互いに連携させながら、土庄町としての特色（郷土の風土、歴史文化、アートなど新旧織り交ぜた特色）を活かし、時代に即した有効な施策を講じることにより、人口減少、地域経済縮小を最小限にとどめつつ、土庄町を、住んで良かった、訪れて良かった、また訪れたいと思っていただけける「まち」とするため、計画の実現を目指して鋭意取り組んでまいります。

以上、私の町政運営の基本姿勢と方針、並びに本日提案いたしました平成二十九年度の予算案の概要を申し上げます。議員各位の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



▲まちの創生に向けたふるさと納税の推進



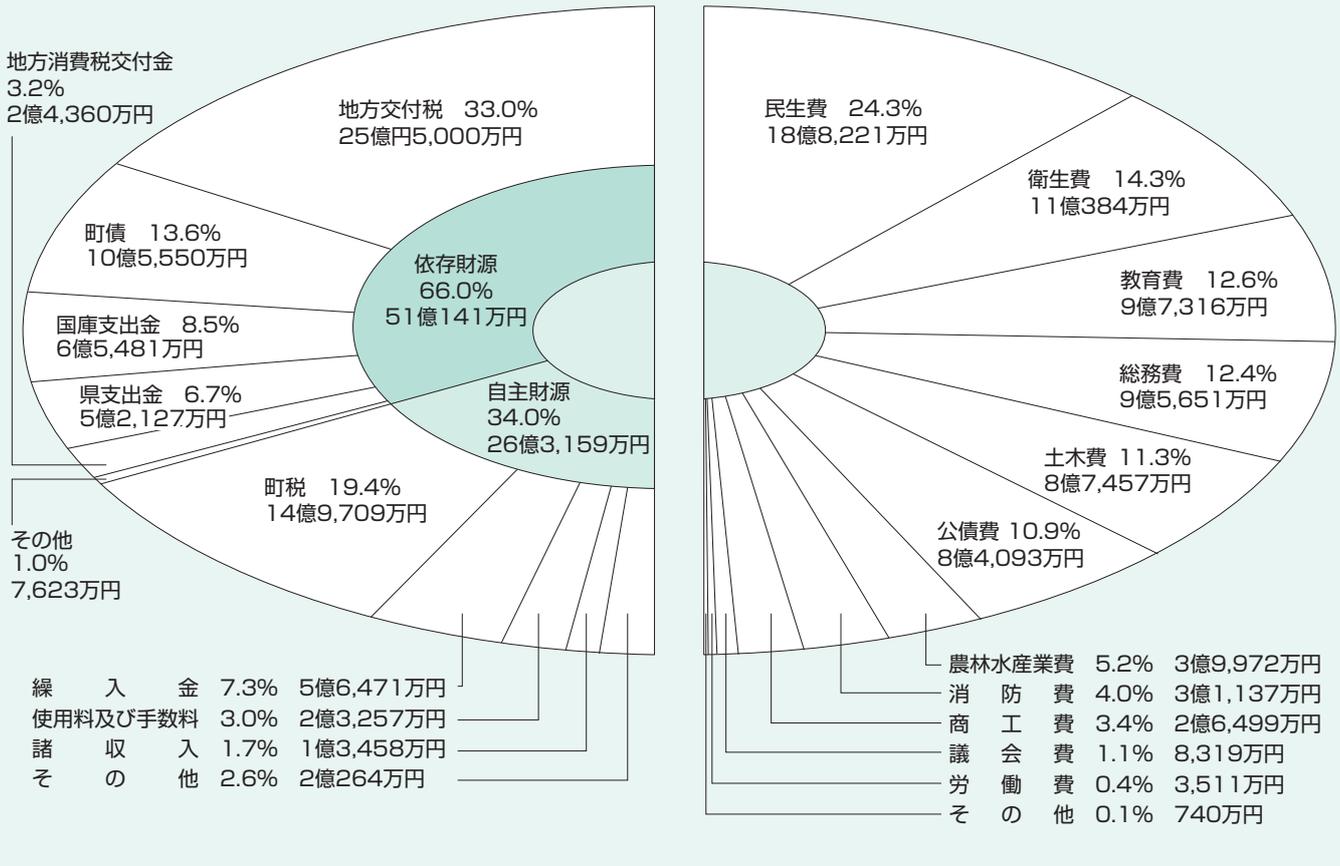
魅力ある、安心で快適な、支え合うまちづくりへ

総額 129億8,510万円

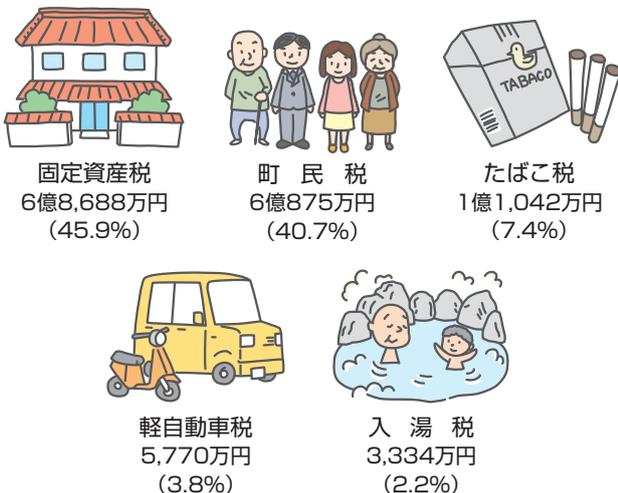
歳入

一般会計 77億3,300万円

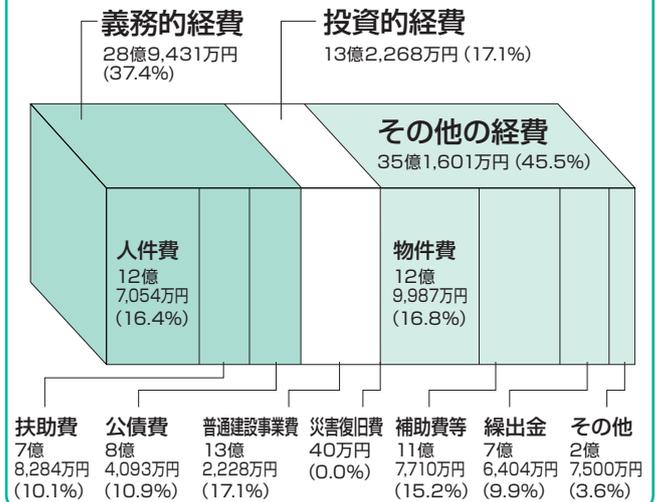
歳出



◆町税の内訳◆



◆性質別歳出◆



今年はこの事業をします

住んでよく、訪れてよかったと思えるまちづくり

瀬戸内国際芸術祭事業	1,977万円
観光団体・イベント助成事業	4,489万円
観光交流事業	332万円
一般廃棄物処理施設整備事業	1億9,378万円
一般廃棄物（し尿）処理施設整備事業	3,261万円
次世代産業育成モデル事業	9,166万円
有害鳥獣被害防止対策事業	5,888万円
離島流通効率化事業	2,720万円
移住交流推進事業	1,765万円
域学連携交流事業	194万円

誰もが安全で安心して暮らせるまちづくり

社会資本交付金事業	2億4,812万円
（大谷ポンプ場新設・下水道長寿命化）	
都市下水道施設改良事業	1,188万円
老朽危険空き家対策事業	4,810万円
町道新設改良事業	3,396万円
交通安全対策事業	259万円
災害対策事業	240万円
自然災害防止事業（河川）	2,065万円
自然災害防止事業（急傾斜）	2,488万円
沖之島架橋事業	540万円
社会資本交付金事業	3,750万円
（舗装修繕・橋りょう長寿命化）	

子育てしやすく、賑わいのあるまちづくり

放課後児童健全育成事業	1,295万円
離島高校生通学支援事業	119万円
地域公共交通活性化・再生総合事業	462万円
（小豆島中央高校通学助成）	
四海公民館建設事業	2,348万円
旧淵崎小学校校舎改修事業	550万円
選択無形民俗文化財記録作成事業	178万円
エンゼル祝金等支給事業	250万円
新設統合こども園建設事業	1億4,750万円
放課後子ども教室事業	968万円
子ども医療費支給事業	1,793万円

住み慣れた地域で豊かに暮らせるまちづくり

病院事業	2億4,267万円
通院困難者支援事業	200万円
介護職員養成事業	367万円
障害福祉計画等策定事業	282万円
離島振興事業	799万円
福祉バス運行事業	1,370万円
社会資本交付金事業（大部住宅建替）	2億4,497万円
民間建築物耐震対策支援事業	385万円
民間住宅耐震化リフォーム支援事業	100万円

協働と連携により、自律するまちづくり

ふるさと納税推進事業	1億134万円
地域活性化支援事業	923万円
自治振興助成事業	957万円
地域情報化事業	2,222万円
個人番号カード交付事業	155万円

平成29年度予算

本年度の一般会計予算は、総額77億3千3百万円で、前年度に比べて1億1千3百万円、率にして1.5%の増となりました。

厳しい財政状況の中、施策の重点化及び効率化を進め、第6次土庄町総合計画「きらめき創造プランとのしょう」の実現に向け、予算を編成しました。

3月議会定例会で可決、成立しましたので、そのあらましをお知らせします。

■ 特別会計予算 46億8,106万円

国民健康保険事業	23億1,399万円
港湾整備事業	6,090万円
宅地造成事業	7,969万円
大鐸財産区事業	973万円
農業集落排水事業	3,404万円
介護保険事業	18億4,877万円
福祉サービス事業	1億393万円
後期高齢者医療事業	2億3,001万円

■ 企業会計予算 5億7,104万円

水道事業	5億7,104万円
------	-----------

用語一口メモ

- 【一般会計】 地方公共団体の行政運営の基本的な経費を計上した会計
- 【特別会計】 特定の事業を行う場合、一般の歳入歳出と区別して個別に処理するための会計
- 【企業会計】 事業収益により企業方式で経営する会計
- 【自主財源】 町税など地方公共団体が自らの手で徴収または収納できるもの
- 【依存財源】 地方交付税や国庫支出金、町債（借入金）など他からの収入によるもの
- 【普通建設事業費】 道路、学校など公共施設の建設などに要する経費
- 【人件費】 職員や特別職の給与、議員・各種委員の報酬など
- 【補助費等】 各事業や団体への補助金や負担金
- 【物件費】 消耗品、臨時職員賃金、業務委託料などの消費的性質の経費
- 【公債費】 町の借金の元金、利子返済に要する経費
- 【扶助費】 医療費など社会保障制度の一環として法令に基づき支出される経費



宮原隆昌副町長、下地芳文教育長が就任しました

平成29年3月土庄町議会定例会において、宮原隆昌副町長の選任、下地芳文教育長の任命が同意され、平成29年4月1日付で就任しました。なお、任期は副町長が4年間、教育長が3年間です。

土庄町教育委員会の教育長職を4月1日より拝命いたしました。現在、学校教育は、従来の学校中心とした枠組みだけではなく、保護者や地域の皆さまと連携し、一体となって子どもたちの学び場を創りあげる必要があります。今後、より一層の町の教育改革を推進してまいりますので、皆さまのご協力をお願いいたします。



しもじ よしふみ
下地 芳文 氏

【略歴】 昭和31年生まれ。昭和54年から中学校教員として従事し、小豆島町立内海中学校校長、小豆島町立池田中学校校長などを経て、平成26年から土庄町立土庄中学校校長を歴任。

土庄町の副町長職を4月1日より拝命いたしました。我が町の先人、井上文八郎氏は大正時代より「都市計画」の概念で町づくりを考えておられ、私たちは少子高齢化のなかで町のランドデザインを再考する必要があります。また、島の活性化のため既存の景観や史跡などを効果的に発信してまいりますので、皆さまのご協力をお願いいたします。



みやはら たかまさ
宮原 隆昌 氏

【略歴】 昭和32年生まれ。昭和55年に小豆広域行政事務組合職員、平成5年から土庄町職員として従事し、人権対策課長、土庄町教委教育総務課課長などを経て、平成27年から土庄町参事を歴任。

平成28年度 土庄町教育委員会表彰式が挙行されました

3月1日(水)、「平成28年度土庄町教育委員会表彰」の表彰式が中央公民館で挙行されました。

この表彰は、文化・芸術・スポーツなど各般にわたって町の教育振興に寄与し、特に多くの方の模範となった個人や団体の功績を称えるものです。

今年度は8名の個人と4つの団体が表彰されました。(掲載は表彰順、学年および校名は表彰時)



【問い合わせ先】

町教育委員会事務局教育総務課 ☎62-7012

個人

かど いし ゆう
角石 悠 (土庄小2年)

【第44回壺井栄賞】 最優秀賞の壺井栄賞

いし い ひろ と
石井 滉人 (土庄中3年)

【第58回香川県中学生陸上教室記録会】
男子共通 3000m 1位

なか はし みく
中橋 美来 (土庄中3年)

【平成28年度香川県中学校陸上競技記録会】
女子フリー砲丸投 1位

まる ぼと つくも
丸嶋 紹雲 (土庄中3年)

【第56回香川県中学校総合体育大会】
柔道競技 男子90kg超級 1位

ふじ わら きょうか
藤原 京加 (土庄中3年)

【第56回香川県中学校総合体育大会】
柔道競技 女子63kg級 1位

こじま とう こ
兒島 藤子 (豊島中3年)

【第68回香川県中学校生徒科学体験発表会】 最優秀賞

さいくさ しょうぞう
三枝 祥三 (感謝状)

平成12年4月から平成28年3月まで土庄町文化財保護審議会委員を務め、町の文化財保護および、調査、研究を積極的に行い町民の文化的向上に寄与した。成果として、調査報告書「土庄町の神と仏たち」など。

せと ひろし
瀬戸 弘 (感謝状)

平成18年4月から平成28年3月まで土庄町文化財保護審議会委員を務め、町の文化財保護および、調査、研究を積極的に行い町民の文化的向上に寄与した。成果として、調査報告書「土庄町の神と仏たち」など。

団体

土庄中学校 相撲部

【第56回香川県中学校総合体育大会】
相撲競技 団体 1位

土庄中学校 女子テニス部

【第27回四国中学校テニス新人大会】
団体 2位

土庄中学校 ブラスバンド部

【第40回全日本アンサンブルコンテスト香川県大会】
打楽器四重奏 代表金賞最優秀賞

土庄中学校 女子剣道部

【第34回香川県中学校1年生剣道強化大会】
団体 1位

～自分でつくる生活習慣～ 一日人間ドック・健診で健康チェック!

一日人間ドックを実施します

町では、土庄町国民健康保険に加入している満40歳以上の方と香川県後期高齢者医療制度に加入している町内在住者を対象に、一日人間ドックを実施します。

人間ドックは、糖尿病や高血圧などの生活習慣病を予防するための基本的な健診（特定健診・後期高齢者健診）の検査項目に、がん検診などを加えた検査を一度に受診できます。

人間ドックの受診を希望する方は、事前に町役場福祉課までお申し込みください。なお、人間ドックを受診する場合は、検査項目が重複するため、健診は受けられません。

◆申込期間／4月17日(月)～10月31日(火)

◆申込・問い合わせ先／町役場福祉課 ☎62-7002

人間ドックの自己負担額

検査内容		自己負担額	
基本検査	問診・計測・血液検査など	3,530円	
オプション検査	胸部CT	肺や気管、心臓疾患などの検査	13,608円
	前立腺検査	前立腺からの分泌物の検査	3,002円
	子宮頸がん検診	婦人科診察および細胞診検査	3,240円
	乳がん検診	マンモグラフィ	6,069円
		視触診・乳腺エコー	3,780円
	視触診・乳腺エコー・マンモグラフィ	9,849円	

◆受診期間／6月1日(木)～11月30日(木)

◆受診医療機関／小豆島中央病院

生活習慣病予防には健診を

健診（特定健診・後期高齢者健診）は、メタボリックシンドロームに着目し、生活習慣病の発症や重症化を未然に防ぐための基本的な検査です。自己負担額は600円で受診できます。

また、土庄町国民健康保険に加入している40歳代の方には、無料で健診が受けられる無料券を受診券とあわせて5月下旬に送付します。

健診は、島内各医療機関で受けられるほか、各地区公民館で集団健診も行います。詳しくは、広報とのしょう5月号でお知らせします。

メタボリックシンドロームって？

メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪型肥満の方が軽症でも高血糖・高血圧・脂質異常などの危険因子を2つ以上持っている状態のことを言います。この状態を放置しておく、と、動脈硬化が急激に進み、脳卒中や心臓病などの重大な生活習慣病を引き起こしてしまいます。

ご自身の生活習慣病の早期発見に役立て、健康的な毎日を過ごすため、定期的に健康チェックをしましょう。



検査項目の比較

検査項目		健診 (特定健診・後期高齢者健診)	人間ドック 基本検査
問診		○	○
診察検査	身長、体重、BMI、腹囲	○	○
	視力、簡易聴力検査	-	○
血液検査	赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン	○	○
	白血球数、血小板	-	○
循環器系検査	血圧検査、心電図検査	○	○
脂質代謝機能検査	HDL コレステロール、LDL コレステロール、中性脂肪	○	○
肝機能検査	GOT、GPT、γ-GTP	○	○
	ALP、Alb	-	○
糖尿病検査	空腹時血糖	-	○
	ヘモグロビンA1c、尿糖	○	○
腎機能検査	クレアチニン	○	○
	尿酸	-	○
尿検査	尿蛋白	○	○
	尿潜血	-	○
消化器系検査	胃部X線撮影または胃カメラ	-	○
	便潜血反応	-	○
腹部超音波検査	腹部エコー	-	○
呼吸器系検査	胸部X線撮影	-	○
眼底検査		△ (医師の判断)	○



福祉課からのお知らせ

通院困難者支援事業を実施します

町では、小豆郡内の医療機関にバスを利用して通院することが困難な方に対して、タクシー（介護タクシーを含む）料金の支払い時に使える助成券を交付します。申請は4月10日(月)から町役場福祉課で受け付けますので、ぜひご利用ください。



●助成対象者

町内に住所を有し、次のいずれかに該当する在宅の方。

- ①要介護3以上の認定を受け、自立歩行が困難な車イス利用者の方
- ②障害の等級が1級または2級の身体障害者手帳をお持ちの方で、障害種類が下肢・上下肢・体幹機能・運動機能または視覚障害のいずれかに該当する方
- ③障害の程度が最重度㊤の療育手帳をお持ちの方

●助成内容

1枚500円のタクシー助成券を1か月につき2枚まで交付します。

●申請方法

対象要件を確認できるもの（介護保険被保険者証、身体障害者手帳または療育手帳）と印鑑を用意し、町役場福祉課までお越しください。
なお、町民税が課税されている方、自動車税などの減免を受けている世帯の方、保護者が児童障害福祉年金を支給されている方は申請できません。

【申請・問い合わせ先】 町役場福祉課 ☎62-7002

平成29年度
国民年金保険料のご案内

平成29年4月分から平成30年3月分までの国民年金保険料額は次のとおりです。

月額 16,490円

国民年金保険料は、日本年金機構から送付される納付書により、金融機関や郵便局、コンビニで納めることができるほか、口座振替でも納付できます。

便利でお得な口座振替の申し込みには、年金手帳、通帳、印鑑（金融機関の届出印）をご用意ください。

【問い合わせ先】

高松東年金事務所
☎087-861-3866
町役場福祉課
☎62-7002



家族介護用品支給の
対象者を拡大します

町では、自宅で高齢者を介護している家族に対し、介護用品を購入する際に利用できる支給券を交付しています。

平成29年4月からは、次の要件を満たす方も支給対象となりますので、支給を希望される方は町役場福祉課に申請してください。

なお、現在支給を受けている要介護4または5の方については、新しい申請は不要です。

◆新しい対象要件／

要介護高齢者（要介護3）を在宅で介護しており、要介護者と介護者ともに町に住所を有し、主治医意見書に「尿失禁発生の可能性がある」と記載されていること。

◆交付額／月額 4,000円

※要介護者が町民税課税世帯の方は月額 1,000円

◆問い合わせ先／町役場福祉課 ☎62-7002

熊本地震義援金の受付を延長します

熊本地震による被災地を支援するため、皆さまから義援金を支援していただいております。お預かりした義援金は、日本赤十字社を通じて被災地にお届けしています。

また、義援金の受付期間は平成30年3月末まで延長します。平成29年4月以降に義援金にご協力いただける方は、町役場福祉課の窓口までお越しください。

引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

義援金受付状況

(平成29年2月28日時点)

①個人・各団体	178,075円
②土庄町老人クラブ連合会	660,000円
合計	838,075円

【問い合わせ先】 町役場福祉課 ☎62-7002

教育総務課 からののお知らせ

病児・病後児保育室「オリーブキッズ」をご利用される方へ

小豆島中央病院では、病児・病後児保育室「オリーブキッズ」を開設しています。町内在住のお子さまで、次の対象に該当する場合は、申請をすれば無料で利用できます。申請書は中央公民館で配布しているほか、町ホームページからダウンロードできます。

対象児童

第2子：満3歳になった後の最初の3月31日まで
 第3子以降：満6歳になった後の最初の3月31日まで
 ※満18歳に達してから最初の3月31日までの兄弟姉妹を順位算定します。

申請方法

申請書に必要事項を記入・捺印し、町教育委員会事務局教育総務課（中央公民館内）に提出してください。

利用方法

審査の後、「利用料受給資格証明書」を郵送しますので、利用時に提示してください。小豆島中央病院「オリーブキッズ」の利用料（一日2,160円、6時間まで1,080円）が無料になります。

【申請・問い合わせ先】

町教育委員会事務局教育総務課
 ☎62-7012



福祉課 からののお知らせ

土庄町地域福祉計画（第3期）を策定しました

町では、平成29年度から5年間の「土庄町地域福祉計画（第3期）」を策定しました。

この計画は、住民アンケートを基に、地域に住む人々が支えあう地域づくりのために、住民・地域・行政がそれぞれの立場で、どのように取り組んでいかなければならないかをまとめたものです。

計画書は、町役場福祉課や各地区公民館、中央図書館で閲覧できるほか、町ホームページに掲載しています。地域福祉の推進のため、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ先】 町役場福祉課 ☎62-7002

身体障害者相談員・知的障害者相談員の設置のお知らせ

平成29年4月から次の方に身体障害者相談員および知的障害者相談員を委嘱します。身体障害・知的障害に関する相談がありましたら、お気軽にご相談ください。

- ・身体障害者相談員 川井 孝夫 田中 保久
- ・知的障害者相談員 岡 裕

【問い合わせ先】 町役場福祉課 ☎62-7002

企画課 からののお知らせ

土庄町空き家バンク制度

「土庄町空き家バンク制度」は、**空き家を貸したい方、売りたい方に空き家物件を登録**していただき、町への移住希望者に物件情報を提供するものです。

空き家バンクへの登録・利用の流れ

● 空き家の所有者 ●

- ①町役場企画課へ連絡
物件所在地や連絡先などをお伺いします。
- ②町役場担当による物件の確認
- ③物件の登録および情報の提供
物件登録申込を行っていただき、町のホームページや窓口で物件情報を提供します。
- ④物件見学
移住希望者から問い合わせがあった場合、町が物件立会人と日程調整を行います。

土庄町役場 (空き家バンク)

町では、空き家物件の情報提供や連絡調整を行います。空き家の物件のあっせん・交渉・契約などはありません。所有者と移住希望者の物件に関する詳細な条件などの交渉は、当事者間で行っていただきます。

● 移住希望者 ●

- ①空き家情報の取得
町のホームページや窓口で空き家情報を提供しています。
- ②町役場企画課へ問い合わせ
- ③見学日時の調整および利用登録
町が物件見学の日程を物件立会人（所有者もしくは代理人）と調整します。土庄町空き家バンク利用希望者登録申請書を提出していただきます。
- ④物件見学
町役場担当・物件立会人と物件見学をします。

⑤交渉・契約

契約の際は、宅建業者への仲介依頼をお勧めします。

【問い合わせ先】 町役場企画課 ☎62-7014



建設課 からののお知らせ

住まいの耐震化支援のご案内

～耐震改修工事に伴うリフォーム支援事業が始まります～

町では、町内の住宅に対して耐震診断・耐震改修工事に係る費用の一部を補助しています。
また、平成29年4月から、耐震改修工事と併せて住宅をリフォームする方に対して、費用の一部を商品券により支援する事業を開始します。補助の要件など、詳しくは町役場建設課にお問い合わせください。

～対象となる住宅の主な要件～

- ①昭和56年5月以前に建てられた戸建住宅、長屋、併用住宅（住宅の用に供する部分が過半以上のものに限る）
- ②建築基準法の規定に基づく違反がないこと
- ③耐震診断や耐震改修工事を行った後、主たる居住の場として、引き続き利用すること
- ④耐震改修工事は、耐震診断で「倒壊する危険性がある」とされたもの
- ⑤住宅リフォームは、耐震改修工事と併せて町内の施工業者が行うこと
- ⑥民間住宅耐震対策支援事業交付要綱に基づく耐震対策を過去に行っていないこと

～補助の内容～

■耐震対策

- ①耐震診断に係る費用の10分の9 【限度額9万円】
- ②耐震改修工事に係る費用 【限度額90万円】
- ③簡易耐震改修工事に係る費用（評価値0.7以上） 【限度額50万円】
- ④耐震シェルター等設置に係る費用 【限度額20万円】

■耐震化リフォーム支援

- ①25万円以上のリフォーム工事に係る費用（耐震工事などに係る費用を除く）の20% 【限度額20万円のオリーブ流通券】

【申請・問い合わせ先】 町役場建設課 ☎62-7006

**土庄港「平和の群像」横 月極駐車場の
使用者を募集します**

土庄港周辺にお住まいの方や通勤などで駐車場をお探しの方は、町役場建設課までお申し込みください。

申込用紙は町役場建設課窓口で配布しているほか、町ホームページからダウンロードできます。

- ◆使用料／月額 4,500円
- ◆申込・問い合わせ先／町役場建設課 ☎62-7006



農林水産課 からののお知らせ

春季シカ一斉捕獲を実施します

小豆地区猟友会が、銃によるシカの一斉捕獲を実施します。大変危険ですので、捕獲期間中は山林に立ち入らないようご協力ください。

捕獲期間

4月9日(日)～6月4日(日)
日の出時間から日没時間まで
(少雨実施)

捕獲区域

豊島地区を除く町内全域

重点区域

北浦地区から大部地区



【問い合わせ先】 町役場農林水産課 ☎62-7007

建設課 からののお知らせ

**防犯外灯(LED)
新設事業のご案内**

町では、集落内の安全確保や交通事故防止のための防犯外灯（LED）新設事業を実施しています。

防犯外灯の新設が必要な場所がありましたら、自治会を通じて町役場建設課に申請してください。

注意事項

- ①防犯外灯を設置した後の維持管理や修理などに要する一切の経費は自治会の負担となります。
- ②予算の範囲内で緊急性の高い箇所から選定しますので、ご希望に沿えない場合もあります。

【申請・問い合わせ先】 町役場建設課 ☎62-7006

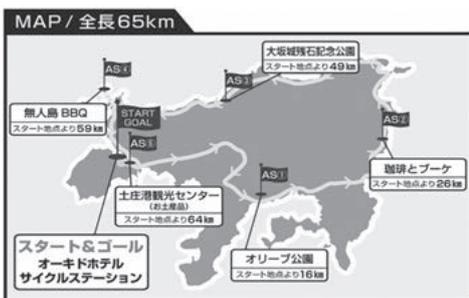


地域おこし協力隊コーナー

なぎさの島活動通信 第5号 小豆島一周サイクリングを 開催します!

5月14日(日)、土庄町地域おこし協力隊企画イベント『小豆島一周サイクリング & 無人島 BBQ』を開催します。このイベントは、県内外のサイクリストに島の景観を満喫してもらうとともに、「食」の魅力を伝えるために企画しました。

コースは「オーキドホテルサイクルステーション」が発着点で、9時にスタートし、島内を反時計回りに走行します。走行は一列で交通ルールを守り、安全なイベント運営に努めますので、地域の皆さまのご理解と温かいご声援をお願いします。



総務課からのお知らせ

行政相談員を委嘱しました

総務省では、平成29年4月から町を担当する行政相談員として、岡上峰康氏(継続)、岡行子氏(新規)の2名を委嘱しました。任期は平成31年3月31日までです。

行政相談員は、総務大臣の委嘱を受け、国や県、町の仕事や年金事務所などの特殊法人などの仕事について苦情や意見、要望などを受け付け、皆さまと関係行政機関などとの間に立って、その解決を促進するよう相談に応じています。

行政相談所は、毎月第2木曜日に町役場などで開いていますので、気軽にご相談ください。

【問い合わせ先】

総務省四国行政評価支局行政相談課

☎087-831-3103

町役場総務課

☎62-7000



小豆島中央高校生 対象

バス定期券購入費を補助します



4月に開校する小豆島中央高校に通学する際、路線バスを利用する生徒に対し、定期券の購入費用の一部を補助します。

この取り組みは、公共交通の利用促進をはじめ、子育て支援と交通安全対策なども含め、小豆両町で新しく実施するものです。

補助対象などの内容は次のとおりです。

●補助対象

土庄町に住所を有し、小豆島中央高校に在学する生徒の保護者で、町税などに未納がない方

●補助金額

①往復定期券の場合

1か月あたり5,000円を超える額

②片道定期券の場合

1か月あたり2,500円を超える額

例) 1か月往復定期券7,200円(基本運賃300円の場合)のうち、2,200円を補助。

●申請方法

定期券を購入後、小豆島中央高校に申請書を提出してください。申請用紙は、4月以降に小豆島中央高校でお受け取りください。

なお、詳しい補助の内容については、町役場企画課(☎62-7014)にお問い合わせください。



～皆さまのご利用をお待ちしています～



生涯学習課からのお知らせ

～東北と小豆島の子どもたちをつなぐ～

楽天イーグルスアカデミーと野球交流を行いました

3月19日、楽天イーグルスアカデミーベースボールスクールのジュニアコーチ陣とスクール生が来島し、高見山グラウンドで郡内の少年野球チームに所属する6年生の連合チームと野球交流を行いました。

野球教室では、牧野・西村両コーチからキャッチボールやバッティングのポイントについて学び、交流試合ではプロを目指すスクール生のパワーや技術に歓声上がるなか、選手たちは真剣な表情で一つのプレーに集中し、お互いの好プレーにエールと拍手を送りあいました。



～ジュニアリーダーとして活躍してみませんか～
ジュニアリーダー募集!!

この春から、子ども会行事や地域行事に参加するジュニアリーダーを募集します。

ジュニアリーダーは、「小学生の優しいお兄さん・お姉さん」として、子ども会でのゲームやイベント行事などをサポートする大切な役割を果たしています。

ジュニアリーダーの活動に興味のある方や、子どもと一緒に遊ぶのが好きという方は、ぜひお問い合わせください。



- ◆募集期限／5月31日(水)まで
- ◆申込・問い合わせ先／
町子ども会育成連絡協議会事務局
(町教育委員会事務局生涯学習課内)
☎62-7013

尾崎放哉の魅力を語る
トーク会を開催しました!

尾崎放哉の魅力を女性の目線で語る「フリートーク会」を2月と3月に小豆島尾崎放哉記念館で開催し、20名の放哉女子が参加しました。

このトーク会は、コーディネーターとして小山貴子さん(尾崎放哉研究家)をお招きし、放哉の代表的な俳句『咳をしても一人』など小豆島での生活を連想させる句を鑑賞し、思い思いに意見を出し合いました。

また、オリジナルの俳句づくりでは、日常の出来事や風景、これまでの思い出などをうまく表現し、全員で披露しながら自由律俳句を親しました。



人権教育シリーズ 88
「部落差別の解消の推進に関する法律」の施行

部落差別のない社会の実現を目的とした「部落差別の解消の推進に関する法律」が平成28年12月に施行されました。

「部落差別は許されない」ものであり、偏見に基づく差別が現在もなお存在しています。また、情報化に伴って、インターネット上で差別を助長するような情報が掲載される問題も発生しています。

部落差別解消のための施策として、国および地方公共団体は、相談体制の充実や教育および啓発の推進に努めることを規定しています。

町においても、差別や偏見のない、お互いの人権が尊重される地域社会の実現にむけ、人権・同和施策に取り組んでまいります。

私たち一人ひとりが、自分の問題と考へ、同和問題を正しく理解し、差別や偏見のない豊かで明るい社会を築きましょう。

〈人権に関する問い合わせ先〉

町役場住民環境課

人権推進室

☎6217015

やすらぎプラザ ガイド

やすらぎプラザ ☎62-1234

保健センターだより

つなげよう 心と命 献血で ～愛の献血にご協力を～

平成28年度に町内6事業所・2イベント会場、12か所で実施した400mlの献血では、287名の皆さまからのご協力をいただきました。献血していただいた血液は、人命救助のための手術や事故などの輸血のほか、がん治療にも活用されています。

今回の献血予定は次のとおりです。引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

- ◆次回予定／4月16日(日) 9時30分～15時
ライオンズクラブ花のチャリティ会場（オリーブタウン広場内）
- ◆問い合わせ先／町役場健康増進課 ☎62-1234



からだの健康は歯と歯ぐきから！ -成人歯科健診のご案内-

食事をおいしくしっかり食べる、家族や友人との会話を楽しむ、生き活きとした表情をつくるためには、健口であることが大切です。

保健センターでは、年に4回、歯科健診を実施しています。歯周病予防のため、定期的に歯科健診を受けましょう。



- ▶と き／4月20日(木)、7月27日(木)、10月19日(木)、平成30年2月15日(木) 13時～
※準備の都合上、必ず予約をお願いします。
- ▶ところ／やすらぎプラザ
- ▶内 容／歯科衛生士によるブラッシング指導
歯科医師による歯科・歯周病健診
- ▶対象者／土庄町民で20歳～69歳の方
- ▶受診料／無料
- ▶申込期限／健診日の3日前まで
- ▶申込・問い合わせ先／保健センター ☎62-1234

【子どもの健康相談室】

小豆島中央病院小児科 山本真由美先生

〈子育てと脳のおはなし②〉

～メディアが脳の成長に与える影響～

日常生活にテレビがあるのが当たり前で、小中学生でもスマホを持っていたり、幼児でもゲームやタブレットを使うような現代。診察室でも、親に注意されてもやめられないお子さんが目立ちます。このような、さまざまなメディアに囲まれている子どもたちの脳の発達に、いろいろな変化がみられることが分かってきました。

ある研究で、テレビをみているとき、脳の中でも聴覚と視覚に関する部分は活性化していました。が、考える脳である前頭葉の働きは、何もしていないときと比べて大きく抑制されていたそうです。また、MRIでも、前頭葉の大きさの成長が悪かったそうです。他のメディアでも同様の変化が見られ、メディアに接する時間が長いほどその変化ははっきりしていたそうです。

人間の脳は、主に感覚や運動を司る部分は、3歳ごろま

でほぼ大人と同じくらいに発達します。また、考える脳である前頭葉は、3～5歳までと、思春期ごろに大きく発達し、大人になってからはこの時期ほどの急激な発達はみられなくなります。そのため、乳幼児期にさまざまな経験をして脳に刺激を与えてあげることが重要です。その時期にメディアとの接触時間が長いと、脳の成長を妨げてしまう可能性が指摘されてきています。子どもの脳は未熟なので、抑制がききにくく、例えば状況に応じてゲームをやめるといったことができなかったり、やめさせられるとキレたり、といったことも起こります。

さまざまなメディアに全く触れないで生活することは難しい現代社会ですが、本を読んだり運動したり、おしゃべりしたりといった経験を通して、脳を十分活性化し、成長を促しましょう。



わだい

Topics

町役場企画課 ☎62-7014

2/25・26 おんばた会館で ひな祭りが行われました

土庄町婦人会淵崎支部によるひな祭りがおんばた会館で行われ、2日間で約500名が訪れました。

同支部の方々が協力して飾ったひな壇が華やかな雰囲気をつくるなか、訪れた人はお茶席で会話を楽しんだり、折り紙でおひなさまを作ったりと、思い思いの時間を過ごしました。



2/19 行きまっせ！さぬきこどもの国 うどん県巡業！

さぬきこどもの国と地域の児童館によるイベント「行きまっせ！さぬきこどもの国 うどん県巡業！」がフレトピアホールで開催されました。

このイベントは、地域の児童館活動を知ってもらおうPR事業の一環として行われ、当日は約300名が参加し、オリーブの木を使ったキーホルダーづくりやビンゴゲームのほか、サイエンスショーなどを楽しみました。



Town Topics

3/4 ～土高魂よ永遠に～ 土庄高校閉校記念式典

小豆郡内の高校統合に伴い、88年の歴史を刻んだ香川県立土庄高等学校が平成29年3月をもって閉校しました。

3月4日、同校体育館で閉校記念式典が挙行され、在校生を代表して宮脇誠族さんが「先輩が残した土高魂を胸に、小豆島中央高校でもより良い学校生活を過ごしていきます。」と挨拶し、大きな拍手が起こりました。寂しくも新しい時代の訪れに期待し、式典のフィナーレには「ばら色匂ふ」校歌を全員で歌いました。

同校の歴史や校訓は記念碑として正門前に設置され、「覇気 誠心 工夫」の土高魂は次の世代へと受け継がれていきます。



Town Topics

防犯カメラを新たに4台設置しました

町では、犯罪と事故の防止を目的に、港周辺や主要な交差点に新たに防犯カメラを設置しました。

設置した防犯カメラの映像については、犯罪発生時に確認する必要があるときのみ閲覧し、個人のプライバシーに配慮しながら、適切な管理運用を行っていきます。

《防犯カメラの設置場所》

既設	土庄港フェリー乗り場	新設	土庄港高速艇乗り場
	大部港フェリー乗り場		東港交差点
			淵崎自治会館前交差点
			小馬越・肥土山とのY字交差点

3/4・5 近県中学校柔道錬成小豆島大会

県内外の柔道強化指定選手が参加する合同練習がフレトピアホールなどで行われ、香川県、岡山県、愛媛県、徳島県から選手と指導者など約400名が参加しました。

この大会は今回で10回目を迎え、選手たちは2日間にわたって熱のこもった稽古を繰り広げ、己の技と力を磨きました。



Topics

■身近な出来事や話題など、皆さまからの情報をおまちしています。

3/11 赤十字非常食炊き出し コンテストに出場

防災・減災をテーマにした「赤十字非常食炊き出しコンテスト」が高松市さめきこどもの国で行われ、土庄町日奉奉仕団員の方々が出場しました。



コンテストには、そうめんのふしを使ったぜんざいを出品し、「高松赤十字病院管理栄養士特別賞」を受賞しました。



3/9 ヘルシー講座で調理実習

町では、健康に関するさまざまなことを学び、体験してもらう「ヘルシー講座」を今年度3回開講しました。

最終日は「みんなで目指そう健康長寿」をテーマに、やすらぎプラザ調理室で栄養士による座学と調理実習が行われました。約20名の受講者は、ひじきやごぼうを使った一品料理に挑戦し、家庭でも気軽に取り入れられる健康メニューや食習慣について学びました。



Town Topics

3/12 第8回井上観音堂オリーブ茶会

淵崎村里づくり推進協議会と地域の皆さんが協力し、8回目となる「井上観音堂オリーブ茶会」がおんばた会館で行われました。

当日は、島民の方をはじめ、フランスやタイからの外国人観光客が訪れ、日本文化に親しみ、興味深く茶道具などをご覧になりました。



また、井上観音様をお参りし、日本一古いと伝えられているオリーブの木を鑑賞し、和やかなひと時を過ごしました。

3/12 ~災害に備えて~ 豊島で総合防災訓練

南海トラフ巨大地震を想定した防災訓練が旧豊島中学校で行われ、警察や海上保安庁、小豆地区消防本部、地元自治会と消防団など約200名が参加しました。

訓練は小豆警察署が主体となって企画し、参加者は心肺蘇生法やAEDの使い方について学び、町消防団豊島分団はヘリコプターの着陸に備えて散水手順を確認し、地域の防災意識を高めました。



Town Topics

3/18 小豆島中央病院が 開院1周年を迎えました

小豆島中央病院の開院1周年を記念した「春の健康フェスタ」が行われました。

病院内では、こどもお仕事体験や食育コーナーなどのさまざまなイベントが行われ、佐藤企業長による特別講演では、小豆島中央病院の現状や高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らす「地域包括ケアシステム」の取り組みについて説明があり、多くの方が小豆地域の医療や健康について学ぶ機会となりました。



3/15 池田港飛行場外離着陸場 (ヘリポート) が完成しました

小豆島町池田港近くに、飛行場外離着陸場(ヘリポート)が完成しました。

ヘリの離着陸場は1600㎡(縦40m×横40m)で、救急患者を島外に搬送するドクターヘリや防災ヘリなどの発着拠点として活用し、地域住民の安全・安心につながります。





図書館コーナー

☎62-0273

開館時間 午前9時～午後6時
(水曜日は午後7時まで)

休館日 毎週月曜日、4月29日(土)、30日(日)、
5月3日(水)、4日(木)、5日(金)

催しもの

- **古文書を読む会**
4月11日(火)、18日(火)、25日(火) 9時30分
- **大人のおりがみ教室 (要予約)**
4月12日(水) 13時30分
- **鈴木潤さんのブックトーク**
4月16日(日) 10時30分
「子どもの本専門店の方から学ぼう
～絵本の楽しさ・面白さ～」
- **映画会**
4月16日(日) 14時
「トムとジェリー (魔法の指輪)」
- **英語教室**
4月19日(水)、5月10日(水) 10時
「死よ驕るなかれ」
- **《新》読書会**
4月22日(土) 10時
「本の魅力を探りませんか！」
- **アメリカの歴史講座**
4月23日(日) 13時30分



新しい本

書名	著者
我が名は、カモン	犬童 一心
決戦！日本海上空 上	夏見 正隆
告白の余白	下村 敦史
また、桜の国で	須賀しのぶ
大晦り	佐伯 泰英
かわうそ堀怪談見習い	柴崎 友香
立川忍びより	仁木 英之
敵の名は、宮本武蔵	木下 昌輝
ガーディアン	薬丸 岳
騎士団長殺し 1・2	村上 春樹
物件探偵	乾 くるみ
不発弾	相場 英雄
戦友たちの祭典	森村 誠一
終りなき夜に生れつく	恩田 陸
荒鷲の血統	夏見 正隆
芥川賞の偏差値	小谷野 敦
谷崎潤一郎全集 9	谷崎潤 一郎
最終兵器は女王様	福田 和代
居酒屋ぼったくり 7	秋川 滝美
皇帝の剣 上・下	門田 泰明
人間じゃない	綾辻 行人
北斎まんだら	梶 よう子
今ひとたびの、和泉式部	諸田 玲子
ぼくの死体をよろしくたのむ	川上 弘美
芝公園六角堂跡	西村 賢太
ビブリア古書堂の事件手帖 7	三上 延
サンライズ・サンセット	山本 一力
俠客 1	門田 泰明
招待状	赤川 次郎

ベビーマッサージ教室

～毎月第2木曜日に開催します～

- ◆ **と き** / 4月13日(木) 10時～11時
- ◆ **と ころ** / 子育て支援センター
- ◆ **対象者** / 生後2～10か月の赤ちゃんと保護者
- ◆ **準備物** / バスタオル
- ◆ **参加料** / 300円 (オイル、資料代)
- ◆ **講 師** / 武部優子さん
- ◆ **申込・問い合わせ先** /
子育て支援センター ☎62-5990



第26回 土庄町長杯テニス大会

- ◆ **と き** / 5月14日(日) 8時30分～
- ◆ **と ころ** / 高見山テニスコート
- ◆ **種 目** / 男子ダブルス、女子ダブルス
- ◆ **対象者** / 小豆郡内に在住または勤務している方
- ◆ **参加料** / 1チーム3,000円 (中・高校生は半額)
- ◆ **申込期限** / 5月2日(火) 17時まで
- ◆ **抽選日** / 5月2日(火) 19時30分～ 中央公民館
- ◆ **申込・問い合わせ先** /
町教育委員会事務局生涯学習課 ☎62-7013

くらしのワンポイントアドバイス

「ギフト券を購入し番号を連絡しろ」 は詐欺です！

SMS (ショートメッセージサービス) を利用した架空請求詐欺の被害が小豆郡内で発生しました。消費者庁は、インターネット販売などの業者を名乗りサイト利用料未納金を請求する詐欺への注意を呼びかけています。



また、高額請求などの被害救済をうたう事業者をインターネットで調べて連絡し、高額請求されたなどのトラブルも小豆郡内で発生しています。

不安な場合やトラブルに遭った場合は、消費生活相談窓口にご連絡ください。



【相談ダイヤル】

香川県小豆県民センター
消費生活相談窓口 ☎62-2269

4月の行事予定

4月10日～5月9日

◆ 主な行事 ◆

- 4月16日 ●土庄町長杯ゲートボール大会
北浦ゲートボール場 9:00
- 22日 ●小豆郡ジュニアバスケットボール大会
フレトピアホール 9:00
- 23日 ●土庄町民ゴルフ大会
小豆島シーサイドG.C 8:30
- 5月3日 ●肥土山農村歌舞伎奉納
肥土山の舞台 15:30

◆ 子育て支援センター ◆

- 4月11日 ●ピョ〜ンと遊ぼうタイム 10:30
- 13日 ●ベビーマッサージ教室 (要予約) 10:00
- 14日 ●お散歩に行こう(要予約)
宮ノ下海岸 10:00
- 18日 ●戸形なかよし広場(要予約)
戸形体育館 10:00
- 25日 ●4月・5月生まれ誕生会 (要予約) 10:30
- 5月2日 ●ピョ〜ンと遊ぼうタイム 10:30
- 毎週水曜日 ●絵本の読み聞かせ会 (図書館職員) 10:30

◆ やすらぎプラザ ◆

- 4月11日 ●からだところの相談室 (要予約) 9:30
- 20日 ●妊産婦・成人歯科健診 (要予約) 13:00
- 歯みがき教室 (H27年4月～6月生まれ) 15:00
- 25日 ●ことばと聴こえの相談 (要予約) 10:00
- 26日 ●すこやかルーム (H29年2月生まれ) 10:00
- 27日 ●2歳児歯科健診 (H27年1月～2月生まれ) 13:00
- 歯みがき教室 (H26年10月～12月生まれ) 15:00
- 28日 ●子育て相談日 (妊婦～子ども) 10:00
- 1歳児相談 (H28年3月～4月生まれ) 13:00



◆ 相談案内 ◆

- 行政相談(北浦公民館)
4月13日(木) 13:30～16:00
- 心配ごと相談および交通事故相談 (総合福祉会館)
4月18日(火) 13:00～15:00
5月2日(火) 13:00～15:00
- 人権相談(中央公民館)
4月25日(火) 10:00～15:00
- 年金相談(豊島公民館)
4月28日(金) 11:00～16:00 (中央公民館)※要予約
- 5月2日(火) 10:00～15:00

小豆総合事務所保健福祉課
☎62-1373

- こころの悩み相談 ※要予約
4月13日(木) 14:30～16:10

休日当番医のご案内

医療Netさめき (<http://www.qq.pref.kagawa.jp>) または各社新聞でご確認いただけます。
※一部変更される場合があります。



毎月19日は「かがわ食育の日」
朝ごはんを食べましょう!



IMG アカデミーが小豆島にやってくる!

世界で活躍するアスリートを育てる米国最大級のスポーツアカデミーのテニスコーチが来島し、クリニックを開催します。

小・中・高校生競技者向けのクリニック

- ▶と き / 4月12日(水) 19時～(小学生対象)
4月13日(木) ①17時～(中学生対象)
②19時～(高校生対象)

▶ところ / 高見山テニスコート

スポーツ指導者向けの講習会

- ▶と き / 4月13日(木) 19時～21時30分

▶ところ / 高見山テニスコート

- ▶内 容 / 動作分析と、IMGアカデミーで実施する育成世代の指導法を紹介します。

- ▶受講料 / 1,000円

- ▶申込・問い合わせ先 /

町総合型地域スポーツクラブ設立準備室
(町教育委員会事務局生涯学習課内)

☎62-7013

第16回放哉ジュニア賞 優秀賞受賞作品を展示します

第16回放哉ジュニア賞・優秀賞受賞者の自筆短冊の展示を行います。

今回展示するのは、応募数1,260句の中から選ばれた15名の作品。子どもたちの日常を表現したおもしろい句や心温まる句、わくわくした気持ちになる句など、力作をぜひご覧ください。



展示の日程

日 程	場 所
4月 7日(金) ～ 4月21日(金)	中央図書館
4月23日(日) ～ 5月 7日(日)	小豆島尾崎放哉記念館
5月 9日(火) ～ 5月19日(金)	中央公民館1階ロビー

【問い合わせ先】小豆島尾崎放哉記念館 ☎62-0037



▶ **とき** /

第1回：5月8日(月) 13時30分～
 第2回：5月10日(水) 13時30分～
 第3回：5月11日(木) 10時～

▶ **ところ** /

香川県視覚障害者福祉センター
 (高松市番町1丁目10-35)

▶ **受講料** / 無料

▶ **申込方法** / 電話申込

▶ **申込期限** / 4月21日(金)まで

▶ **申込・問い合わせ先** /

香川県視覚障害者福祉センター
 ☎087-812-5563

自転車の交通事故多発注意！

県における、平成28年の交通死亡事故数は全国ワースト3位（人口10万人あたり）となっており、近年は自転車の交通事故が増加しています。

自動車を運転される方は、交差点での左右確認と十分な減速により事故防止に努めましょう。

自転車を運転される方は、反射材などを利用して事故防止に努めましょう。また、自転車事故を起こした際には、自分が怪我をするだけでなく、相手に怪我をさせたり、相手の物を壊したりすることがあります。万一の事故に備え、保険の加入をお願いします。



身体・精神・知的障害者の自動車税・自動車取得税の減免制度のお知らせ

県では、障害のある方々の社会参加をより一層支援していくため、平成28年度から同一の障害区分（下肢不自由など）において複数の障害を有する場合の減免の判定方法を見直し、対象範囲を拡大しました。詳しい要件は、香川県県税事務所自動車税課にお問い合わせください。

平成29年度自動車税の減免申請は、**4月3日から5月26日(土・日曜日、祝日を除く)まで**、香川県県税事務所自動車税課（高松市松島町）で受け付けています。また、小豆地区の出張受付は次の日程で行いますので、ぜひご利用ください。

◆ **出張受付日** /

- ①4月13日(木) 9時～16時
- ②4月20日(木) 9時～16時
- ③5月18日(木) 9時～16時

◆ **場所** /

小豆県民センター（県小豆合同庁舎内）
 ☎62-2266

◆ **問い合わせ先** /

香川県県税事務所自動車税課
 (高松市松島町1丁目17-28)
 ☎087-806-0314

小豆島で自動車の登録ができます

香川運輸支局では、小豆島に出張して自動車の登録を行っています。ただし、実施できる業務に制限がありますので、必ず運輸支局へご確認の上、ご予約ください。

※実施日の2営業日(土・日曜日、祝日を除く)前の午前中までにご予約ください。

《実施日程表》

4月19日(水)	10月12日(木)
5月17日(水)	11月8日(水)
6月14日(水)	12月13日(水)
7月12日(水)	平成30年1月17日(水)
8月9日(水)	平成30年2月14日(水)
9月14日(水)	平成30年3月14日(水)

【実施する業務】

登録自動車および小型二輪（251cc以上）の車両で、名義変更・住所変更・番号変更・新規登録・廃車などの業務

【実施場所】

小豆島出張検査場（土庄町甲 5878-2）
 (株)安全モータース ☎62-2210

【受付時間】

①10時30分～11時30分 ②13時～13時20分

【自動車税の申告納付】

出張登録の申請時に自動車税、自動車取得税の申告および納税をすることになります。

【申込・問い合わせ先】

<登録に関すること>

香川運輸支局登録部門ヘルプデスク

☎050-5540-2075

<自動車税に関すること>

香川県県税事務所 ☎087-881-3858

土庄町ホームページに広告を掲載しませんか

▶ **広告規格（1枠分）** / ①縦50ピクセル×横70ピクセル

②JPEGまたはGIF形式 ③容量4キロバイト

▶ **掲載料** / 1枠 120,000円/年 ※掲載位置はトップページとなります。

▶ **申込・問い合わせ先** /

町役場総務課

☎62-7000



案内板

Information

募 集

土庄町職員募集

職 種	図書館職員 (臨時的任用職員)
募集人員	1名
応募資格 (日本国籍を有し、地方公務員法第16条に該当しないこと。)	①60歳未満の方 (定年が60歳) ②普通自動車運転免許を有する方
申込書類	①申込書(所定のもの) ②免許証の写し
申込期間	4月9日(日)から23日(日)までの開館日午前9時から午後5時まで
試験日時・場所	別途通知
採用予定年月日	平成29年5月
申込・問い合わせ先	中央図書館 ☎62-0273

手話奉仕員養成講座「入門編」受講者募集

手話での簡単な日常会話に必要な手話語彙や表現技術の習得を目的に、全22回の講座を開講します。

- ▶ **とき** / 5月31日～平成30年1月10日
基本毎週水曜日(祝日除く)
9時45分～11時45分
- ▶ **ところ** / 香川県聴覚障害者福祉センター
(高松市番町1丁目10-35)
- ▶ **受講料** / 無料
※テキスト代3,240円および補助教材費1,080円が必要です。
- ▶ **定員** / 40名(申込多数時は抽選)
- ▶ **申込方法** / 往復はがきに①住所②氏名(ふりがな)③年齢④電話番号およびFAX番号を記入し、香川県聴覚障害者福祉センター「手話奉仕員養成講座 入門編」係(高松市太田上町405-1)まで郵送してください。
※返信面もご記入ください。
- ▶ **申込期限** / 4月26日(休)まで
- ▶ **申込・問い合わせ先** / 香川県聴覚障害者福祉センター
☎087-868-9200

- ▶ **内容** / 観光案内や挨拶、日常で使える基本的な英会話を学び、島内の観光施設などで実践します。
- ▶ **講師** / 森川 光与 氏
(小豆島観光国際化アドバイザー)
島本 瑞生 氏
(小豆島観光協会 職員)
- ▶ **参加料** / 無料
- ▶ **申込方法** / 初めて参加される方は、電話にて申し込みください。
- ▶ **申込・問い合わせ先** / (一社)小豆島観光協会
☎82-1775

講座・講習

オリジナル減災落語噺「桂こけ枝の笑って!備えて!」

南海トラフ巨大地震などの自然災害に対し、「どうすれば被害が減らせるのか?」「日常の備えと構えとは?」を学び、減災意識を高めましょう。

- ▶ **とき** / 4月15日(土)
14時～16時20分
- ▶ **ところ** / 中央公民館 大ホール
- ▶ **講師** / 桂 こけ枝 氏
たかしま災害支援ボランティアネットワークなます 氏
- ▶ **参加料** / 500円
(小学生以下無料)
- ▶ **申込・問い合わせ先** / (公社)小豆島青年会議所
☎75-1504

イベント

「さくらの森」湯茶接待

小豆島とのしょう観光協会による「さくらの森」湯茶接待を開催します。

- ▶ **とき** / 4月9日(日) 10時～
- ▶ **ところ** / 蛙子池記念碑前
- ▶ **内容** / 先着300名様に煎茶と和菓子のお接待(無料)
- ▶ **問い合わせ先** / 小豆島とのしょう観光協会
☎62-2009

第14回英会話セミナー「YOKOSO(ようこそ) SHODOSHIMA(小豆島)」

- ▶ **とき** / 4月17日(月)18時～19時
(受付:17時30分～)
- ▶ **ところ** / 小豆島ふるさと村

視覚障害者のためのパソコンボランティア養成講習会

視覚障害者の情報バリアフリー化の推進を目的に、個別にサポートしていただける方を養成するため、全3回の講習会を行います。

町の人口	区分	3月1日	前月比	前年比	2月の動き
町の人口	人口	13,703	△ 34	△218	出生 12
	男	6,451	△ 10	△ 76	死亡 29
	女	7,252	△ 24	△142	転入 14
	世帯数	5,950	△ 30	△ 82	転出 31

島の人口	3月1日	小豆郡	土庄町	小豆島町
人口	28,199	13,703	14,496	
男	13,336	6,451	6,885	
女	14,863	7,252	7,611	
世帯数	12,314	5,950	6,364	

小豆島消防署	町内の救急・火災概況(2月分)			
小豆島消防署 119	救急	火災		
	出動件数	53件	出火件数	1件
	搬送人員	47人	焼損面積	0.0㎡

町内の交通事故	区分	2月	1月からの累計
町内の交通事故	発生件数	3件	15件
	死亡者数	1人	1人
	負傷者数	2人	4人

島の主要ダム	3月20日	利水容量	貯水量	貯水率
島の主要ダム	吉田ダム	1,290,000㎡	1,107,500㎡	85.9%
	殿川ダム	580,000㎡	271,200㎡	46.8%
	山田ダム	194,000㎡	189,400㎡	97.6%

島の雨量	観測地	3月1日～19日	前年比
島の雨量	殿川ダム	1ミリ	△49ミリ
	吉田ダム	3ミリ	△54ミリ
	豊島	0ミリ	△52ミリ

※人口は「香川県人口移動調査」によるもので、平成27年国勢調査確定値に基づく人口です。



町長室だより

三枝 邦彦

新たなスタート ～土高魂よ、永遠なれ！～

柔らかく吹く春風が心地よい季節となりました。それぞれの希望や想いを胸に、新たな新年度がスタートします。

3月1日は小豆島高校、3日には土庄高校でそれぞれ最後の卒業式が厳粛に挙行されました。最後の卒業生、また新しい小豆島中央高校で最初の生徒となる皆さんには、先生や仲間と過ごした日々を胸に刻み、「土高魂」をもって大きく羽ばたいてほしいと願っています。

また、3月4日に行われた土庄高校閉校記念式典では、卒業生はじめ土庄高校に縁のある多くの方々が参加し、思い出の詰まった校庭に別れを告げました。

流れる最後の校歌は万感胸に迫るものがあり、シンボルである校旗が閉納され、昭和4年に町立香川県土庄商業学校として開校以来、多くの人材を輩出し、地域とともに歩んできた名門土庄高校の、88年に渡る長い歴史に幕が下ろされました。

また、併せて閉校記念碑の除幕式が行われ、移設された「昭和11年建立の門柱」が風格を漂わせ、校訓が刻まれた約400年前の小海の残念石が中央に堂々と据えられました。

高校はなくなりますが、歴史を象徴するこれらの記念碑が、地域の想いを一つにする心の拠り所となることを願うばかりです。

この地で培われた伝統や精神、そして郷土を愛する心は新しい高校でも永遠に生き続けていくことでしょう。そして「土高魂」は変わることなく次の世代へと引き継がれていくに違いありません。

先般、小豆島中央病院が無事開院1周年を迎え、また4月からの新高校の開校など、島では新たな歴史の第一歩が踏み出されようとしています。今後も地域の皆様のご支援により、新病院そして新高校をあたたく育んでいただきたいと思います。

人の動き

2月21日～3月20日受付

(敬称略)

◎掲載を希望する方は

届出窓口でお申し出ください

★赤ちゃん誕生

出生児 届出人 地区

木村 美咲	届出人	吉ヶ浦
児玉 獅志虎	届出人	大谷
中川 雄仁	届出人	淵崎西
中筋 太郎	届出人	淵崎東
九富 悠	届出人	小江
上口 音	届出人	家浦硯

♡ご結婚

氏名 夫 妻 地区

伊賀 拓路・彩 織一本 町

●おくやみ

氏名 年齢 届出人 地区

藤本 美豊子	88	力男	保土喜崎
畝木 スエノ	93	豊昭	親交
黒木 ヨシ子	106	信行	昭和
常盤 正樹	81	祥司	吉ヶ浦
中村 善也	75	春美	柳
石川 杉子	85	吉岡清純	大木戸
南堀 多賀子	81	福三	大木戸
佐伯 富司	87	福清	肥土山
佐伯 仁	94	信幸	肥土山
佐竹 義彦	95	修次	小馬越
岡上 セッコ	90	壽一	馬越
松本 光子	37	きよ子	伊喜末
石井 寅雄	95	豊	伊喜末

表紙の紹介

3月12日、今年で23回目となる『水源の森づくりin小豆島』に大部地区山林愛護会や美島緑の少年団など約90名が参加し、山田ダムの上流にケヤキなど450本の苗木を植え込みました。

「豊かな緑と水を育む森林づくり」を目指して始まったこの活動は、昨年8月の「香川県緑の少年団活動発表大会」で最優秀賞を受賞し、今年11月に開催される「第41回全国育樹祭」では美島緑の少年団の子どもたちが活動発表を行います。

苗木とともに子どもたちの成長を願う地域の皆さん。植樹の作業後には、笑顔いっぱいの集合写真が撮影できました。



くらしのダイヤル

ご用の際は直通ダイヤルへ

総務課	☎62-7000
企画課	☎62-7014
少子化対策室	
消費生活相談窓口	
税務課	☎62-7001
住民環境課	
戸籍・住民票	☎62-7003
衛生・環境	☎62-7010
人権推進室	☎62-7015

福祉課	☎62-7002
商工観光課	☎62-7004
出納室	☎62-7005
債権管理室	☎62-7016
建設課	☎62-7006
農林水産課	☎62-7007
水道課	☎62-7009
議事局	☎62-7011

健康増進課	☎62-1234
(やすらぎプラザ)	
教育委員会事務局	
教育総務課	☎62-7012
生涯学習課	☎62-7013
中央公民館	☎62-0238
大北公民館	☎62-0704
北浦公民館	☎65-2050
四海公民館	☎64-5050

豊島公民館	☎68-2050
大戸形公民館	☎67-2050
戸崎公民館	☎62-0108
中央図書館	☎62-5990
子育て支援センター	☎62-0273
総合福祉会館	☎62-5990
フレトピアホール	☎62-2700
小豆島中央病院	☎62-7077
土庄診療所	☎65-1121
	☎62-1212

環境にやさしい路線バスを利用しましょう！

